

令和7年度連合会事業計画 概要

I. 主催事業

(1) 第60回全国高等専門学校体育大会

[趣旨] 高等専門学校教育の一環として、学生に広くスポーツ実践の機会を与え、技術の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な学生を育成するとともに高専相互の親睦を図る。

[日程] 令和7年8月23日(土)～12月24日(水)
令和8年1月4日(日)・5日(月)・7日(水)・9日(金)

[競技種目、競技日程、開催校、競技会場]
別添の令和7年度連合会事業計画日程のとおり

[担当地区・担当校]
九州沖縄地区 大分工業高等専門学校

[開催校] 大分高専、久留米高専、有明高専、北九州高専、佐世保高専、
熊本高専(八代、熊本両キャンパス)、都城高専、鹿児島高専、沖縄高専、神戸市立高専

[参加校] 国公立高等専門学校 58校63キャンパス

[参加者] 約3,200名

(2) アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025

[趣旨] 高専生が既成概念にとらわれず「自らの頭で考え、自らの手でロボットを作る」ことの面白さを体験してもらい、発想することの大切さ、物作りの素晴らしさを共有する。

[日程・場所]
地区大会 令和7年9月21日(日)～10月19日(日)の各日曜日
各地区の日程・場所は、別添の令和7年度連合会事業計画日程のとおり

全国大会 令和7年11月16日(日)@国技館

[競技名等] 競技名、競技課題、競技形式は、4月に発表予定

[選出チーム構成]
・出場チームは同じ高専の学生3名と指導教員1名
・地区大会には、一つのキャンパスから2チーム出場
・全国大会へは、地区大会からの出場枠が26チーム(予定)
北海道2、東北3、関東甲信越4、東海北陸4、近畿3、中国3、四国3、九州沖縄4
上記に加え、競技委員会推薦チームを選出する可能性あり

[参加者対象者等] 高専ロボコン関係者約900名(高専学生、OB・OG、教員、校長)

(3) 全国高等専門学校第36回プログラミングコンテスト

[趣旨] 技術教育に主眼をおく高専においては、創造性・独創性を涵養する教育への取組が強く求められており、創造性教育のプロジェクトの一つとして、高専学生の情報処理技術の高揚、若く力強いエネルギーや発想の柔軟性を表現する。

[日程・場所]
予選: 令和7年6月28日(土)書類による審査
本選: 令和7年10月11日(土)～12日(日)@島根県立産業交流会館(松江市)

[主管校] 松江工業高等専門学校

[応募資格] 国公立高専の学生（専攻科生含む）

[応募期間] 令和7年5月19日（月）～26日（月）

[部門・テーマ] パソコン等で実行可能なソフトウェア環境のもとで以下の3部門で競う。

- ・課題部門：「ICTを活用した環境問題の解決」をテーマにした作品
- ・自由部門：自由なテーマで独創的な作品
- ・競技部門：与えられたルールによる対抗戦

（４）第22回全国高等専門学校デザインコンペティション

[趣旨] 豊かな生活環境を実現する「デザイン」について、あらためて深く、広く考え、若い感性と発想を展開し、より高度・上質なデザインを競い合うことにより、社会に高専の総合的な技術力を発信する。

[日程・場所] 本選：令和7年11月8日（土）～9日（日）

@鯖江市嚮陽会館、鯖江市まなべの館

[主管校] 福井工業高等専門学校

[応募資格] 国公立高専の学生（専攻科生含む）

[応募受付] 予選作品の受付：令和7年8月

[メインテーマ]「織りなす」

[競技部門]・構造デザイン部門：紙の橋を製作、載荷試験による耐荷性能・デザイン性

・空間デザイン部門：居住空間や生活空間を提案、コンセプト・デザイン性

・創造デザイン部門：社会環境やPLATEAUに注目し、より良い社会システムを提案

・AMデザイン部門：3Dプリンターによる造形物の性能・デザイン性・実現性・将来性

・プレデザコン部門：高専3年生以下の各部門のコンセプトやデザイン性を競う

[参加者総数] 約1000名

（５）第19回全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト

[趣旨] 全国の高等専門学校における学生の英語表現力の向上、並びに学校間の親睦・交流を図り、更なる国際感覚豊かな技術者の育成を図る。

[日程・場所]

地区大会 令和7年（シングル部門：各地区予選の日程による）

全国大会 令和8年1月24日（土）～25日（日）

@国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都新宿区代々木）

[主管校] 津山工業高等専門学校

[参加資格] 国公立高専の学生（専攻科生含む） ただし研究生、留学生を除く

[競技内容]・シングル部門 1人で1つのテーマについて発表する

発表終了後、審査員との質疑応答を行う

・チーム部門 1チーム3人で、1つのテーマについて発表する

発表終了後、審査員との質疑応答を行う。

[応募期間]・チーム部門：令和7年9月2日（火）～9月16日（火）（必着）

近畿地区は、地区大会日程の関係上、締切令和7年11月21日（金）

・シングル部門：令和7年11月10日（月）～21日（金）（必着）

四国地区は、地区大会日程の関係上、締切令和7年12月24日（水）

[参加者総数] 約200名（出場者、引率教員、競技関係者等）

〔6〕第7回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト 2026

〔趣旨〕 高専生の日頃の学習成果を活かした、ものづくりの技術に、ディープラーニングを活用することで、社会課題を解決する作品を作り出すコンテストであり、作品によって生み出される「事業性」を競う。

〔日程・場所〕

エントリー期間 令和7年7月1日～10月1日（予定）

一次審査結果発表 令和7年10月中旬（予定）

二次審査結果発表 令和8年1月下旬（予定）

本選出場チーム決定 令和8年2月下旬（予定）

本選：令和8年5月8日（金）～9日（土）@ヒカリエホール（東京・渋谷）予定

〔参加資格〕 国公立高専の学生（専攻科生、留学生含む）

チーム及び個人の参加も可、指導教員1人要

〔参加者数（エントリー数）〕 42高専95チーム 395人（2025大会実績）

Ⅱ. 後援事業

〔1〕第32回全国高等専門学校将棋大会

〔日程・場所〕 令和7年8月27日（水）～29日（金）@熊本高専熊本キャンパス（熊本市）

〔主 催〕 全国高等専門学校将棋大会実行委員会

〔主管校〕 熊本高等専門学校（熊本キャンパス）

〔参加者〕 約160名（出場者、コーチ・マネージャー等）

〔2〕第12回全国高等専門学校弓道大会

〔日程・場所〕 令和7年8月28日（木）～29日（金）

@長野運動公園総合運動場 弓道場（長野市）

〔主 催〕 全国高等専門学校弓道連盟

〔主管校〕 長野工業高等専門学校

〔参加者〕 約200名（出場者、監督、コーチ、マネージャー等）

〔3〕Honda エコマイレージチャレンジ2025 第44回全国大会

〔日程・場所〕 令和7年10月11日（土）練習走行、12日（日）決勝

@モビリティリゾートもてぎ（栃木県芳賀郡茂木町）

〔主催〕 本田技研工業株式会社

〔参加者〕 エントリー：全国から約220チーム

〔グループカテゴリー〕 グループⅠ（中学生クラス）、 グループⅡ（高校生クラス）

グループⅢ（大学、短大、高専、専門学校生クラス）

グループⅣ（一般クラス）、 ニューチャレンジクラス

2人乗りクラス、 二輪車クラス

(4) きのくにロボットフェスティバル2025

[趣旨] 小・中・高校生対象のロボットコンテストと「全国高専ロボコン 2025」で優秀な成績を収めた招待チームのロボットや研究機関、企業等の最先端ロボットのデモンストレーションを総合的に実施することにより、青少年のものづくりに対する理解を深め、日本のものづくりと科学技術の進展に資する。

[日程・場所] 令和7年12月21日(日) @御坊市立体育館(和歌山県御坊市)

※令和7年12月20日(土)全日本小中学生ロボット選手権の全国決勝リーグ

[主催] きのくにロボットフェスティバル実行委員会

(和歌山県、和歌山県教育委員会、御坊市、御坊市教育委員会、御坊商工会議所、和歌山工業高等専門学校、和歌山工業高等専門学校産官学技術交流会)

[内容] ①スーパーロボットショー(大学・企業ロボット、高専ロボコン)

②全日本小中学生ロボット選手権

③きのくに高校生ロボットコンテスト

④きのくに高校生プログラミングロボット競技会

⑤その他(高校生プログラミングロボットブース等の展示)

(5)「JASPE 足育」研修会(新潟大会)

[日程] 令和7年8月5日(火)

[主催] 公益財団法人日本学校体育研究連合会、JES 日本教育シューズ協議会

[対象者] 学校体育、養護教諭、学校保健主事等の学校関係者及び幼稚園関係者、その他「足育」に関心の高い市民で主催者の了承を得た者(定員100名)

(6) 2025年度小学生ロボコン

[主催] NHKエンタープライズ・科学技術館

○小学生ロボコン2025

各地での予選会

[日程・場所等] 令和7年7月～9月上旬頃 @場所未定

全国大会

[日程・場所等] 令和7年12月上旬 @未定(東京都内)

(7) 第4回高専防災減災コンテスト

[日程] 最終審査会: 令和8年1月頃 @未定(都内会場)

[主催] 国立高等専門学校機構、防災科学技術研究所、国際科学振興財団

[応募期間] (未定)

[応募資格] 国公立高専に修学している学生(個人、チームでも可)

※教職員がチームのメンバーに入ることも可能。教職員がチームのメンバーに入らない場合には教職員が顧問として入ること。

(8) WiCON2025(旧、高専ワイヤレステックコンテスト)

[日程] 本選大会・表彰式: 令和8年3月12日(木) 予定 @未定(都内会場)

[主催] 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会、一般財団法人全国地域情報化推進協会、独立行政法人国立高等専門学校機構

[応募期間] 令和7年4月1日(火)～5月7日(水)

[応募資格] 高専学生（指導教員1名必須）、個人応募可、複数校チーム可

[募集部門] 「ワイヤレス基礎技術部門」

無線技術・システムの「新規アイデア」の実証にフォーカスした部門

「ワイヤレス利活用部門」

地域課題の解決や新たなビジネスの創出に寄与する「モノ」「アプリ」「サービス」

の技術実証にフォーカスした部門

〔9〕第23回高校生・高専生科学技術チャレンジ（JSEC2025）

[日程] 最終審査会及び表彰式：

令和7年12月13日（土）、14日（日） @日本科学未来館

[主催] 朝日新聞社、テレビ朝日

[応募期間] 令和7年8月29日（金）～9月30日（火）（予定）

[応募資格] 全国の高校生並びに高専学生（1～3年）、個人またはチーム（3名まで）

[募集内容] 既存のカテゴリーにとらわれない意欲的な「科学技術自由研究」で、応募カテゴリーは、物理、化学、生物、地学、数学、その他科学・技術の幅広いジャンル

〔10〕動画コンテスト「SDGsの達成に貢献するバイオエコノミーとバイオテクノロジー」

[日程] 募集：令和7年7月1日（火）～9月16日（火）

公開：令和7年10月8日（水）～10日（金） @BioJapan2025（パシフィコ横浜）

[主催] バイオインダストリー協会、日本バイオ産業人会議

[応募資格] 全国の高等専門学校（高専）の現役学生（1人でもグループでも可）。1組3点まで。

[募集内容] SDGsに貢献するバイオエコノミー/バイオテクノロジーに関する取組やアイデア

〔11〕第4回高専 GIRLS SDGs×Technology Contest（高専 GCON2025）

[日程] 本選：令和7年12月14日（日） @伊藤謝恩ホール（東京大学）

[主催] 国立高専機構、日本経済新聞社

[応募期間] 4月～7月（予定）

[応募資格] 国公立高等専門学校の本科・専攻科に在籍する女子学生個人または学生チーム

[募集内容] SDGsを中心としたさまざまな社会課題の解決に向けた技術開発のアイデア、女性が活躍できる社会実現に向けた提案やイノベーション創出につながるようなもので、これまでなかった新市場、ビジネスチャンスにつながるアイデア

〔12〕第4回私立高専合同進学説明会

[日程] 令和7年6月22日（日）

[主催] 日本私立高等専門学校協会

[会場] 金沢工業大学虎ノ門キャンパス

[対象者] 中学生、小学生、保護者、学校や塾の先生、教育関係者、メディア、その他
参加者数 150～200名予定

〔13〕令和7年度第14回社会実装教育フォーラム

[日程] 令和8年3月6日（金）～7日（土）（予定）

[主催] 東京工業高等専門学校

[会場] 東京工業高等専門学校（予定）

[参加条件] 国公立高専の本科生・専攻科生、1チームの構成は、学生と指導教員

[テーマ分野] ①建設・社会インフラ ②設備システム・防災システム ③食品・農業

④医療・福祉 ⑤地域活性化 ⑥教育支援 ⑦サービス ⑧ロボット ⑨その他

Ⅲ. 諸会議

(1) 総会

毎年2回開催（6月、3月を常例）【定款第12条】

第28回 令和7年6月24日（火）10:00～12:00 @学術総合センター2階中会議場1、2

第29回 令和8年3月23日（月）10:00～12:00 @学術総合センター2階中会議場1、2

(2) 理事会

定時総会の約2～3週間前ごろに開催（TV会議形式）

臨時理事会を開催することがある

(3) 競技運営専門委員会

毎年12月に開催

第56回 令和7年12月11日（木）13:30～16:30 @学術総合センター2階中会議場1,2

※全国高等専門学校体育大会の競技運営に関する事項を調査・研究するため、会長の諮問機関として専門委員会を設置している。